

自治体経営研修「行政トピックス」

【 日 時 】	令和3年2月22日（月）～3月12日（金）※動画配信による実施
【 会 場 】	
【 受 講 者 数 】	81名
【 講 師 】	東京都立大学 法学部教授 大杉 覚 氏
【 研 修 内 容 】	<p><目的> 特別区が直面している課題に焦点をあて、深く掘り下げて考察し、課題解決に向けた取組に必要な知識を習得する。</p> <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> ① コロナ禍において、自治体・自治体職員に求められること ② 自治体行政の原点に立ち返る ③ 「beyond コロナ」時代の自治体運営の方策
【 受 講 生 の 声 】	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況において、個人のみならず行政組織においても NEW NORMAL を取り入れていかねばならないと改めて気づいた。特別区は住民に最も身近な自治体として現場としての感覚を取入れつつ、機敏さを備えて課題に対応していくことが重要であると感じた。 ・タイムリーにして斬新な視点の講義であり、区の管理職が今まさに立ち止まって考えるべき内容であったと思う。オードリー・タンの逸話を始めとする最新のトレンドがよく踏まえられ、説明も分かりやすかった。 ・とても興味深く自分に不足している内容で、受講してよかったと思った。説明や資料は、そぎ落とされた少ない言葉で列挙されており、頭の中で整理しやすく理解しやすかった。 ・オンラインという形式のおかげで、集合研修と違い、隣席の方を気にすることなく講義に集中することができてよかった。聞きたい箇所をリピートできるので、自分のペースで理解することができた。